



有限会社 田島製作所

# エコアクション 21 環境活動レポート

2018年1月～12月の活動報告

2019年3月30日

(有)田島製作所

有限会社 田島製作所は、山形県を代表する蔵王連峰の麓、上山市新北浦工業団地に位置し、金属プレス、金型設計・製作及び金属プレス部品の加工・製作を行っています。

自然環境に恵まれた当地への本社・工場移転に際しては、「省エネルギー計画書」の審査を経た建造物を構築いたしました。又、設備及び材料においても可能な限り環境負荷の少ないものを使用するように配慮しています。

日増しに地球環境の悪化が伝えられる中、次世代のためにも持続可能な環境作りを今後とも続けていきたいと思っております。

## I. 組織の概要

- ①事業所名 : 有限会社 田島製作所
- ②代表者 : 代表取締役 田島 誠一
- ③所在地 : 〒990-3100 山形県上山市新北浦 2-2
- ④TEL : 023-672-1455
- ⑤FAX : 023-672-1450
- ⑥E-mail : [tjm@pressya.com](mailto:tjm@pressya.com)
- ⑦事業の概要 : 金属プレス、金型設計・製作及び金属プレス部品の加工・製作
- ⑧敷地面積 : 3,960 m<sup>2</sup> 延べ床面積 : 2,970 m<sup>2</sup>
- ⑨従業員数 : 36 人
- ⑩環境管理責任者 : 海谷 和徳

## II. 環境方針

### 環境方針

田島製作所は、地球に存在する企業であることを自覚し、省エネ、省資源を意識した生産活動の中で地球と社会に資産を残す目的と会社の永遠の存続を意識し、積極的に環境の保全に努めます。

1. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量及び総排水量及び化学物質使用量削減を継続的に実施し、且つ、事業活動で生ずる環境負荷の削減とグリーン購入を推進します。
2. 環境関連の法規制等を遵守し、環境保全に努めます。
3. 環境保全の目的・目標を定め、さらなる向上に努めます。
4. この環境方針を全従業員に周知徹底し、環境に対する認識度を高め、実のある環境活動を推進します。
5. この環境方針を広く内外に公開し、取り組み経過等を環境活動レポートで適宜公表します。

平成 23 年 1 月 1 日

有限会社 田島製作所

代表取締役 田島 誠一

### Ⅲ. 環境目標

#### ①中長期目標

活動項目	基準年実績	2018～2023 年度目標
二酸化炭素排出量の削減	262,647Kg-CO2	基準年（2017）比1%維持
総排水量の削減	906m3	基準年（2017）比1%維持
廃棄物排出量の削減	10,500Kg	基準年（2017）比1%維持
グリーン購入	33.62%	基準年（2017）比1%維持
化学物質使用量の削減	224Kg	基準年（2017）比1%維持
スクラップ（歩留率）	30.11%	基準年（2017）比1%維持

#### ②単年度（2018年度）環境目標

活動項目	目標値
二酸化炭素排出量	260,020Kg-CO2（基準年比1%維持）
総排水量	896m3（基準年比1%維持）
廃棄物排出量	10,395Kg（基準年比1%維持）
グリーン購入	33.28%（基準年比1%維持）
化学物質使用量	222Kg（基準年比1%維持）
スクラップ（歩留率）	29.80%（基準年比1%維持）

### Ⅳ. 環境活動計画

活動項目	責任者	取組内容
電力使用量の削減	小山浩志	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間・週末のブレーカー遮断</li> <li>・機械エアフィルターの掃除</li> <li>・LEDへ交換</li> <li>・コンプレッサーのフィルター管理</li> </ul>
灯油使用量の削減	船橋有喜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボイラー用灯油使用量調査</li> </ul>
車両燃料使用の削減	船橋有喜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブ教育の実施</li> <li>・燃費のチェックと管理</li> </ul>
水道使用量の削減	船橋有喜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散水の禁止</li> <li>・センサー式自動水洗の流量を絞る</li> </ul>
廃棄物排出量の削減	木村博之	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料搬入用木製パレットの返却再利用</li> <li>・加工油の減量化及び再利用</li> <li>・脱脂剤の長期利用の検討</li> </ul>
グリーン購入	井上法子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品購入時のエコマーク確認</li> <li>・非グリーン製品使用の管理</li> </ul>
化学物質使用量の削減	木村博之	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用量、保管量の記録管理</li> </ul>
スクラップ（歩留率）の削減	渡辺 亨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不良製品の削減</li> <li>・端材等の利用を検討する</li> </ul>

(有)田島製作所

## V. 環境活動計画の取組結果と評価、次年度の取組内容

活動項目	目標	実績	評価
電力使用量の削減 (KW/h)	358,680	350,976	・トラブルがなく安定した生産を維持できたことよかったと思う
灯油使用量の削減 (L)	9,470	9,735	・新しく受注した製品はねじの数が多く結果として脱脂作業を増やした
車両燃料使用の削減 (L)	12,229	12,673	・売上からも輸送量が増えたことが予想される。比例関係があるようだ
廃棄物排出量の削減 (Kg)	11,446	11,719	・毎日送られてくる書類やダイレクトメールは、一向に減れない。梱包材の工夫だけでは限界がある
総排水量の削減 (m3)	897	840	・水漏れが発生していた。気を付けて管理していこうと思う。
グリーン購入 (%)	33.28	32.55	・グリーンマークの入った商品が増えているようだが利用できていない。
化学物質使用量の削減 (Kg)	224	228	・生産量に左右される。科学物質を使用する製品の生産が減った。
スクラップ (歩留率) (%)	29.81	29.64	・複合機での材料仕様に課題がある。一手間かけて材料の歩留まりを上げる
二酸化炭素排出量の削減 (Kg-CO2) (電力、灯油、車両燃料の使用合計で換算)	260,020	<b>257,247</b>	・売上が上がったのにCO2排出量が減っている。何が良かったのか理解できていない。活動の成果として小さな数字が結果を作ったのではないか

\*購入電力の排出係数は、2015年度東北電力0.573を使用しています。

### ◎次年度の取組内容

毎年、生産量と生産額の変化が大きいため、エコアクション活動の成果が見えない。活動内容も前年と同様になってしまう。昨年より指標にした一番大切なCO2排出量を売上で割ってみた数値は下記の通りである。

	売上 (万円)	CO2 排出量	CO2/売上
2015年	499,025	311,258	0.62
2016年	346,583	238,588	0.69
2017年	476,215	262,647	0.55
2018年	507,417	257,249	0.51

来年度より弊社E A 21のガイドラインを2017年度版へかえる。それに伴い上の表は理解しやすい数字になっていると思う。エネルギー使用量から見た生産性と読み替えられる気がする。推測の域は出ないが、2018年度の0.51の数値が0に近づくほど少ないエネルギーコストを下げ生産性向上を果たした成果と読み取る方法で検証していこうと思う。

(有)田島製作所

◎環境負荷の推移

環境負荷項目	2016年度	2017年度	2018年度
二酸化炭素排出量 (Kg-CO2)	238,588	262,647	257,249
廃棄物排出量 (Kg)	9,528	11,562	11,220
総排水量 (m3)	750	906	840

VI. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

2019年3月30日 海谷環境管理責任者がチェック表に基づき遵守状況をチェックして問題がないことを確認しました。当社は、農村地帯に立地する事業所として今後とも排水の水管理、浄化対策を徹底して行い、地域に決して迷惑をかけないように努力いたします。よって当社は、環境法規等の違反、訴訟はありません。尚、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

◎当社に該当する主な環境関連法規

廃棄物の処理及び清掃に関する法律	浄化槽法
騒音規制法	振動規制法
化学物質排出把握促進法	消防法

VII. 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し会議実施日：2019年1月14日（月）

会議参加者：田島社長、海谷環境管理責任者、事務局田島拓弥 環境リーダー3名

・報告事項

- ①環境目標達成状況      ②環境活動計画の実施運用結果
- ③環境関連法規等の遵守状況      ④苦情・要望の有無

・社長からの評価コメントと指示事項

- ① 2019年のEA21は、2017年度版へ変更し活動をしていく。それに伴い生産性の向上がEAで掲げられている。
- ② 生産時間の短縮が生産性向上につながることを意識して今年の活動を作り上げてほしい。材料の歩留まりと脱脂による灯油の使用に意志を入れてほしい。
- ③ 工場内のLED化は、今後も進めていく。

(有)田島製作所